



「再活」×2

不動産を「再活」し、日本を「再活」する。



平成 30 年 9 月 27 日

各位

会社名 株式会社アルデプロ
 代表者名 代表取締役社長 椎塚裕一
 (コード番号 8925 東証二部)
 問合せ先 執行役員社長室長 荻坂昌次郎
 (TEL 03-5367-2001)

連結業績および個別業績における会計処理（損失計上）に関するお知らせ

当社が本日付の「子会社における信託受益権の売却、借入金の返済および子会社の異動に関するお知らせ」で発表しておりますとおり、当社の子会社である合同会社 TSM147 は東京都中央区に所在する信託受益権を東京都所在の法人に売却しましたが、これにより連結業績と個別業績において損失が発生いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績における損失の発生について

本日付の「子会社における信託受益権の売却、借入金の返済、および子会社の異動に関するお知らせ」で発表しておりますとおり、当該信託受益権の売却での売上総利益はマイナスとなる見込みです。

なお、今回の売却につきましては、債務を圧縮し財務基盤の安定をめざし、当初販売目標額を譲歩してでも、投下資金の回収を優先事項として投下資金を回収し、より優良な物件等へ資金を投下し、在庫回転を加速化していきたいとの判断から売却に至りました。

(ご参考) 本日の返済による連結業績の借入金、社債等の状況（債務圧縮の状況）

(単位：百万円)

科目	平成 30 年 7 月期の状況	本日の返済による減少	返済後の状況
短期借入金	16,076	△9,990	6,086
1 年内返済予定の長期借入金	4,347	—	4,347
社債	4,840	—	4,840
長期借入金	233	—	233

2. 個別業績における損失の発生について

当該信託受益権の売却に伴い合同会社 TSM147 は解散予定で、当社の出資金が返還されますが、返還される出資金額が一部毀損したことにより 49 億円のうち 9 億円と見込まれ、40

億円が個別業績の特別損失として平成 31 年 7 月期に計上される見込みです。

なお、この個別業績で発生の特損失は連結業績では内部取引のため計上されません。

この特別損失の額は現時点の概算額で大幅に変動する場合は改めてお知らせいたします。

3. 今後の見通しについて

上記 1. の損失は連結業績に、2. の損失は平成 31 年 7 月期の個別業績に計上される見込みです。なお、平成 31 年 7 月期の連結業績予想につきましては精査中であり、詳細が決定次第お知らせいたします。当社は、当該信託受益権の売却を含めて財務基盤の安定、業績向上に向けて邁進してまいります。

以上